

平成22年度化学物質の内分泌かく乱作用に関する公開セミナー

—ExTEND2005からEXTEND2010へ—

プログラム（案）

平成22年12月15日（水）

10:00 開会（環境省）

第1部：ExTEND2005における取組

10:10 ExTEND2005において取り組んだ研究の概要（環境省）

10:20 研究成果の報告（1課題 25分、講演順序は未定）

○哺乳類を用いた毒性実験の結果に影響を及ぼす実験動物の遺伝的要因解析

[財団法人残留農薬研究所 青山博昭]

○核内ホルモン受容体による転写調節における環境化学物質の作用機構

[群馬大学 岩崎俊晴]

○排水由来エストロゲン作用の削減効果の評価に関する研究 [京都大学 田中宏明]

○メダカの生殖内分泌系に及ぼす化学物質の内分泌かく乱作用の作用メカニズムに関する研究 [自然科学研究機構基礎生物学研究所 長濱嘉孝]

○野生メダカの性分化異常に関わる基礎的情報の収集と解析 [新潟大学 濱口哲]

12:25～13:30 昼休み

第2部 EXTEND2010と内分泌かく乱作用に関する取組の今後の方向性

13:30 化学物質の内分泌かく乱作用に関する今後の対応：EXTEND2010 [環境省]

13:55 生物の試験法開発に関するこれまでの成果と今後の課題

[独立行政法人国立環境研究所 鑪迫典久]

14:20 生物に対する内分泌かく乱作用に関する調査研究の動向と対応の方向性

[自然科学研究機構基礎生物学研究所 井口泰泉]

14:45 ヒトに対する内分泌かく乱作用に関する調査研究の動向と対応の方向性

[東京大学 遠山千春]

15:10～15:25 休憩

15:25 パネルディスカッション

○コーディネーター：北野大（明治大学）

○パネリスト：井口泰泉（自然科学研究機構基礎生物学研究所）、鑪迫典久（独立行政法人国立環境研究所）、遠山千春（東京大学）、有田芳子（主婦連合会）、庄野文章（社団法人日本化学工業協会）、早水輝好（環境省）

16:40 閉会